

遠藤薫名誉教授年譜

1. 出生

1945年（昭和20年）11月4日 北海道勇払郡安平町生まれ

2. 学歴

1964年（昭和39年）3月 北海道立苫小牧東高等学校卒業

1964年（昭和39年）4月 山形大学文理学部文学科入学

1968年（昭和43年）9月 同 卒業

1969年（昭和44年）4月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程入学

1971年（昭和46年）3月 同 修了

1971年（昭和46年）4月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程入学

1973年（昭和48年）3月 同 退学

3. 職歴

1973年（昭和48年）4月1日 北海道大学助手経済学部

1975年（昭和50年）4月1日 小樽商科大学講師商学部

1979年（昭和54年）10月1日 同 助教授商学部

1987年（昭和62年）10月1日 同 教授商学部

2000年（平成12年）4月1日 経済学科長（2001年（平成13年）3月31日まで）

2004年（平成16年）4月1日 国立大学法人小樽商科大学商学部教授

2004年（平成16年）4月1日 経済学科長（2005年（平成17年）3月31日まで）

2009年（平成21年）3月31日 国立大学法人小樽商科大学定年退職

4. 研修・在外研究

1980年（昭和55年）9月－1981年（昭和56年）3月

筑波大学（文部省内地研修）

1987年（昭和62年）8月－1987年（昭和62年）12月

カルガリー大学（北海道・アルバータ州大学交流プログラム）

1994年（平成6年）3月－1994年（平成6年）9月

エール大学（文部省在外研究）

5. 学会活動

日本オペレーションズ・リサーチ学会評議員

1994年（平成6年）4月－1996年（平成8年）3月

生活経済学会理事

2005年（平成17年）5月－2008年（平成20年）6月

6. 公 職

北方圏交流推進委員会（北海道知事私的諮問機関）委員

1975年（昭和50年）11月－1983年（昭和58年）4月

北海道環境影響評価審議会委員

1988年（昭和63年）11月－1996年（平成8年）11月

遠藤薫名誉教授業績

1. 著 書

『やさしい統計学の本』（長尾昭哉，遠藤薫共著）同文館出版，1997年（平成9年）10月。

『Excelで学ぶ計量経済学』エコノミスト社，2002年（平成14年）4月。

2. 論 文

「ネットワーク上の荷積問題」『経済学研究』第23巻第1号，1973年（昭和48年）3月。

「主・双対アルゴリズム」長尾昭哉編『行動選択のための推論』恒星社厚生閣，1973年（昭和48年）11月

「分散分析における組合せ計算について」『経済学研究』第24巻第2号，1974年（昭和49年）7月。

「ダミー変数について」『商学討究』第27巻第1号，1976年（昭和51年）7月。

「地域計量モデルと政策シミュレーション」（遠藤薫，所哲也，長谷部亮一共著）『エコノミック・フロンティア』第7，8，9合併号，1977年（昭和52年）12月。

「二地域におけるサーチ」『商学討究』第29巻第1号，1978年（昭和53年）7月。

「サーチを行う条件」『商学討究』第29巻第4号，1979年（昭和54年）2月。

「9地域間の人口移動，1955-1976」『商学討究』第30巻第3号，1979年（昭和54年）12月。

「地域データを用いた決定過程における経験的ベイズモデル」『エコノミック・フロンティア』第13号，1981年（昭和56年）3月。

「2種類の情報がある場合の価格のサーチ」（遠藤薫，長尾昭哉共著）『商学討究』第35巻第1号，1984年（昭和59年）7月。

「分布が未知のときの2種類の情報による価格のサーチ」『商学討究』第35巻第4特別号, 1985年(昭和60年)3月。

「2種類の情報がある場合の価格のサーチにおける間接的情報の規模について」『商学討究』第36巻第3号, 1986年(昭和61年)3月。

「広告における製造業者と小売業者の価格情報」『商学討究』第42巻第4号, 1992年(平成4年)3月。

“Direct and Indirect Information in Price Search,” in *Proceedings: International Conference on Economics / Management and Information Technology 92*, The Japan Society of Management Information, 1992.

「初期の災害情報について」『季刊北海学園大学経済論集』第43巻第3号, 1995年(平成7年)12月。

3. 解説類

「SASのAUTOREGプロシジャでは自己相関係数をどのように推定しているか」『情報処理センター広報』創刊号, 1990年(平成2年)3月。

「SASにおける連立1次方程式モデルの推定と誘導形係数の導出」『情報処理センター広報』第2号, 1991年(平成3年)1月。

「SASにおける最小二乗残差の利用－条件分散不均一性の場合－」『情報処理センター広報』第6号, 1993年(平成5年)3月。

「SASによるブートストラップ」『情報処理センター広報』第9号, 1996年(平成8年)3月。

「エクセルによるヒストグラムの作成」『情報処理センター広報』第10号, 1997年(平成9年)3月。

「SASの予測平方和」『情報処理センター広報』第11号, 1998年(平成10年)3月。

「リスクとリターン」日本オペレーションズ・リサーチ学会北海道支部編『北海道のOR』1998年(平成10年)11月。

「RATSでのデータの読み込みと回帰分析」『情報処理センター広報』第14

号, 2002年(平成14年) 3月。

「計量経済ソフトウェア gretl について」『情報処理センター広報』第15号, 2003年(平成15年) 3月。

4. 書 評

「N. J. グリックマン著『地域システムの計量経済分析－モデルの組みたてと政策分析の研究』」『エコノミック・フロンティア』第10号, 1979年(昭和54年) 3月。

「M. ブラウン, M. ディパルマ, B. フェララ(編)『地域・全国計量経済モデルの構成－イタリア経済への応用』」『エコノミック・フロンティア』第11号, 1979年(昭和54年) 12月。

5. 学会報告

「2種類の情報がある場合の価格のサーチ」(遠藤薫, 長尾昭哉) 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会, 於慶応義塾大学, 1982年(昭和57年) 9月。

「2種類の情報がある場合の価格のサーチⅡ」(遠藤薫, 長尾昭哉) 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会, 於工学院大学, 1983年(昭和58年) 10月。

“Two Kinds of Information in Price Search,” (Kaoru Endo and Teruya Nagao) The 13th International Symposium on Mathematical Programming, Chuo University, August–September 1988.

「広告における2種類の価格情報」第58回日本統計学会, 於北海道大学, 1990年(平成2年) 7月。

“Direct and Indirect Information in Price Search,” International Conference on Economics / Management and Information Technology 92, Keio Plaza Hotel, August–September 1992.